



自分たちのまちは自分たちで守る ～地域の防災リーダー(消防団員)が担い手を育成～



千葉県浦安市少年消防団
責任者 亀山 友行

1 浦安市の紹介

浦安市は千葉県北西部に位置し、かつての浦安は、三方を海と川に囲まれた「陸の孤島」と呼ばれた漁業のまちでした。しかし、昭和46年の漁業権全面放棄を契機に海面埋立事業が進められ、面積が4倍に拡大。それ以降、営団地下鉄東西線や首都高湾岸線、JR京葉線が開通するなど、都心にわずか十数分という地の利も得て、人口が増加。まちは大きく変貌を遂げ、今では東京ディズニーリゾートがあるまちとして有名となっています。

2 浦安市少年消防団

浦安市少年消防団は、現職の平林清重消防団長が、今後の地域防災の担い手として、少年期から防火・防災に対する知識を得ることにより、将来の地域活動、自治会防災組織のリーダー等、社会生活における地域活動へ参加できる人材育成を検討し、東日本大震災を契機に早急に発足に向け設置検討委員会を立ち上げました。対象を小学5年生、6年生に決定し、市内各小学校、市役所教育担当、防災担当課の協力を経て、平成24年4月1日に第1期生45名により発足しました。「少年消防団」の名称については、消防団員が子供たちの活動を指導し、将来は消防団員を目指してほしいと全消防団員が願いを込め決定しました。

現在は、第4期生(6年生)68名、第5期生(5年生)48名が在籍し、活動を

行っています。指導員が考案した様々な訓練、取組により毎回定員を超える応募があり、目標でありました市内全小学校から少年消防団員を卒団させることができました。

3 活動について

当少年消防団の活動は、小学5年生になる4月1日から小学6年生を終了する3月31日までの2年間のカリキュラムにより活動を実施しています。子供たちは「やる時はやる」を合い言葉に、楽しみながら防火防災に関する知識と技術を習得し、指導員は人を思いやり、助け合う気持ちを持つように、指導を行っています。各活動では規律を重視し、すべての活動で規律訓練を実施しています。その成果は消防出初式で発揮され、消防職員・消防団員と共に入場行進を行い、その堂々とした姿に保護者だけではなく市内外の来賓、来場者からも評価を得ています。また、応急手当について深く身につけてもらうため、自宅において救命を学べるCPR・AEDキットを全団員に配布し、活動以外でも保護者と共に学んでいただいています。AEDを用いた応急手当訓練については市民に披露すると共に、自信を持って行動できるよう指導しています。市防災訓練では帰宅困難者訓練に参加し、海上自衛隊の曳船に乗船できるのは当市の様々な団体の中で少年消防団以外は乗船できず、入団時に多くの問い合わせをいただいております。



すべての活動で実施する規律訓練



救助訓練



応急手当訓練の披露



防災訓練で海上自衛隊の曳船に乗船

4 目指せ全国1位（少年消防クラブ交流会）

少年消防クラブ交流会は平成26年度から参加しています。初年度は不運にも台風の影響により中止になりましたが、27年度には第4位、28年度は第3位を獲得することができました。2年連続で好成績を収めることができたのは、活動とは別に夏休み期間に実施した自主的な訓練と、仲間の少年消防団員や保護者だけではなく、市長、副市長、教育長が激励に訪れるなど、様々な方の応援の力もあり成し遂げることができました。

5 一緒にまちを守ろう

当少年消防団は、発足して5年となりますが、様々な活動のアイデアと日頃の活発な活動が認められ、平成27年度には優良な少年消防クラブとして、消防庁長

官賞及び千葉県少年婦人防火委員長表彰を受賞しました。

指導の手伝いや、出初式等の活動に子供と一緒に参加したいと消防団に入団する保護者もおり消防団員の入団促進にもつながり、地域防災力向上の一翼を担っています。少年消防団員が活動で学んだ知識や経験を大いに活かしていただき、将来は消防団員として共に消防・防災活動ができる日を期待しております。



少年消防クラブ交流会（全国大会）で第3位を獲得